

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2022年度 第3回 ひょうご産官学連携協議会総会 兼
第2回 コンソーシアム担当者連絡会 議事録

日時：2023年3月22日(水) 10時00分～11時00分

場所：オンライン会議

出席者：兵庫県総務部教育課 連携教育推進班 丹保班長
兵庫県商工会連合会 山本主事
兵庫県中小企業団体中央会 内田事務局長
大学コンソーシアムひょうご神戸 中井理事長
コンソーシアム加盟校代表者 30名(28校) 出席者名簿添付(別紙)
コンソーシアム事務局 阿久根事務局長、他6名

I. 審議事項

1. 2022年度事業計画・予算(案)について 資料1

II. 報告事項

1. 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3プラットフォーム型)について 資料2
2. 2022年度活動報告について 資料3
3. トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について 資料4

III. 懇談事項

1. コンソへの期待について

IV. 連絡・調整事項

【資料一覧】

資料1-1 : 2023年度 事業委員会事業計画・予算(案) 一覧
資料1-2 : 2023年度 予算(案)
資料1-3 : 2023年度 事業委員会事業計画及び予算(案)
資料2 : 令和4年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ3PF型)選定結果
資料3 : 2022年度 活動報告
資料4-1 : トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について
資料4-2 : ひょうご神戸から繋ごう! 「令和5年トルコ地震義援金」ポスター
参考資料 : 2022年度 各事業委員会活動の事故評価に対する改善提案

【中井理事長開会挨拶】

冒頭、大学コンソーシアムひょうご神戸 中井理事長より挨拶があった。

【出席者紹介】

兵庫県総務部教育課 連携教育推進班 丹保班長、兵庫県商工会連合会 山本主事及び
兵庫県中小企業団体中央会 内田事務局長より自己紹介が行われた。

開会に先立ち、事務局より、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校39校中28校の過半数の出席を得ていることから、本協議会は成立する旨の報告があった。

I. 審議事項

1. 2023 年度事業計画・予算（案）について

事務局より、資料 1-1～1-3 に基づき、2023 年度事業計画・予算（案）について説明があり、審議の結果、全員異議なく承認された。

II. 報告事項

1. 私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3 プラットフォーム型）について

事務局より、資料 2 に基づき「私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3 プラットフォーム型）」について報告があった。

2. 2022 年度活動報告について

事務局より、資料 3 に基づき「2022 年度活動報告」について報告があった。

3. トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について

事務局より、資料 4 に基づき「トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付」について報告があった。

III. 懇談事項

1. コンソへの期待について

冒頭、事務局より本懇談の趣旨について説明があり、下記の意見等があった。

<主な意見>

(1) 国際交流委員会

- ・自大学だけでは、国際交流事業のアイデアに広がりがなく、実施したいが、予算の関係で、できないことがある。その点をコンソが加盟校との連携によって事業を行うことにより、カバーして頂いており、これからも続けてもらうことを期待する。

(2) 学生交流委員会

- ・WILL BE プロジェクトは非常に素晴らしい取り組みだと思う。
- ・より多くの学生に参加させてあげたいので、広く参加募集の周知をお願いしたい。
- ・自校の学生も参加し、非常に良い経験になったと話していた。委員校以外は、イベントの存在を知り得ないので、委員会以外にも早期に広く募集を広報してほしい。
- ・子育てボランティアに対して、関心がある、来年度も引き続き実施してほしい。
- ・みなとまつり参加募集が、他のイベントとの参加募集と同時期で、みなとまつりに参加希望の学生が間違っ、他のイベントに応募してしまう事があった。次回は分かりやすい参加募集にしてほしい。

(3) キャリア委員会

- ・「地元就職」は学生の希望次第であり、兵庫県の街としての魅力や、企業の魅力とも関係すると思われる。ただ、「知らないから、希望しない」層も多くいると思われるため、兵庫県からの事業を通じ、地元の優良企業を、経営者・若手社員たちから、低年次生から伝えていく取り組みは継続してほしい。

(4) 教育連携委員会、高大連携委員会、FD・SD 委員会

<教育連携委員会・高大連携委員会>

- ・高大連携・教育連携などの他大学の知見が欲しい。
- ・高大連携・教務課など複数の役割を兼任している。加盟校の教職員の方と繋がりたい。
- ・単位互換事業で提供された科目を体系的に構成して、紹介できるとよいかもしれない。

<FD・SD委員会>

- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）のように、ひょうごコンソで大学職員向け研修を検討してほしい。
- ・今年はオンラインと対面形式で講座開催を行った。対面は話しやすく良いと感じた。
- ・自学でもFDSDに取り組んでいるが、関心をもってもらうにはどうすればよいか。
- ・今回、初めて参加した。コンソーシアムについても理解して、今後いろいろ取り組んでいきたい。

(5) 企画運営委員会

- ・コンソのスケールメリットを活かして、単一大学ではできない学生支援事業に力点を置いているのは理解できるが、コンソは産学連携が弱いと感じている。コンソで新たに始動している賛助会員企業と大学とをマッチングさせるプロジェクトは非常にいい試みであると思っている。コンソで当該プロジェクトを実施していくためには、コンソ自体の組織を是非強化していただきたい。
- ・コンソがどこを目指しているのかその着地点や大目標明らかにしていただきたい。また、コンソがどのような未来ビジョンを有しているのかを明確にしていれば加盟校がより参加しやすくなるのではないか。
- ・賛助会員企業と個別ゼミとのマッチングは難しいので、広く公募することもよいのではないか。

Ⅲ. 懇談事項

事務局より、来年度の各事業委員会の担当者の変更登録依頼があり、2023年度定時総会を2023年6月7日(水)15時からオンラインにて開催する旨の案内あった。

以上をもって、令和4年度「ひょうご産官学連携協議会」総会を終了し、解散した。

以 上